サポーターミーティング 2019 議事録

近藤)

それでは時間となりましたので、ただいまより、カマタマーレ讃岐、サポーターズミーティング 2019 を開会いたします。

まず、開会に先立ちまして、本日における注意事項をご説明させていただきます。ミーティング中の動画、静止画、音声等の撮影や録音はご遠慮ください。また、本ミーティングの進行を妨げる行為や、誹謗中傷、罵声などはご遠慮ください。また、会場内での喫煙等はご遠慮ください。なお、本ミーティングの模様、および議事録が後日、クラブ公式サイトにてご報告をさせていただきます。皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の出席者をご紹介させていただきます。株式会社カマタマーレ讃岐、代表取締役社長・川村延廣、常務取締役・岩澤健、トップチームダイレクター・西村俊寛、また、本日の司会進行役を務めさせていただきます運営担当の近藤と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。では、はじめに、代表取締役社長・川村延廣よりご挨拶、および、クラブ経営状況・新体制のご報告をさせていただきます。それでは川村社長よろしくお願いいたします。

川村社長)

皆様改めまして、こんばんは。本日は大変お忙しい中、また、足元の悪い中、また、夜分にも関わらず、カマタマーレ讃岐サポーターズミーティング 2019 に、このようにたくさん、お集まりいただきまして、大変、ありがとうございます。あとは、着席のうえ、お話を進めさせていただきます。

すみません。しばらく、喘息気味で途中で咳き込んだり、どうしてもお水をいただかなければならない、お見苦しいところあるかと思いますが、ご容赦いただければと思います。

昨年はサポーターの皆様はじめ、ファンの皆様方、スポンサーの方々、行政の方々に大変、 多大なお力添えをいただき、大変ありがとうございました。昨年は、J2 リーグ5年目の節目でもあり、共闘のスローガンのもと、上位を目指して戦いましたが、ご案内の通り、7勝25敗、10引き分け、勝ち点31、J2リーグ順位22位となり、J3降格となりました。

最後まで残留を信じ、共に戦ってくださいましたサポーターの皆様には、最後まで声援を送っていただきました県民の皆様方には、誠に申し訳ない思いでいっぱいでございます。また、カマタマーレ讃岐としても、過去、経験したことのない悔しさを味わいました。この悔しさを晴らすためにも、なんとしても、1年での再度、J2への返り咲きを果たしたい。上村健一監督には、その意気込みで溢れております。カマタマーレ讃岐は、再度、J1への道というビジョンへの実現に挑戦してまいります。J1への道を登りきり、香川県の活性化に、貢献することが、私とカマタマーレ讃岐の企業理念でございます。その実現に向けて、私たち、カマタマーレ讃岐は、上村監督、総指揮のもと、来る、3月10日からの新シーズンを「結

束」というスローガンのもと、戦ってまいります。心は、ホームタウン、クラブ、ファン、 サポーターの方々、全ての人々の思いを一つに結び、それを力に変えて、よりよい未来に進 んでいこうというもので、ございます。

また、今年は、三豊市様の格別のお計らいで、サポーターの皆様方には、長年、ご心配をおかけし、また、カマタマーレ讃岐におきましても、念願の、トップチームの練習場の本拠地の整備に取り掛かることになりました。さらには、J2の中で、J1が望める位置になれば、クラブハウスの整備も約束をいただいております。

ですが、もちろん、カマタマーレ讃岐の活動拠点の中心は、高松市であり、最大のホームタウンの中心は高松市と丸亀市でございます。カマタマーレ讃岐のアカデミーの活動拠点は、高松市東部運動公園、スタジアムは丸亀市。トップチームの練習場の本拠地は三豊市という形になります。三豊市の緑ヶ丘サッカー場は、天然芝一面となりますので、完成しても芝の養生の関係で、週3日は使えない日が発生します。その点では、週3、4日は従来のサッカー場で、練習させていただくことになります。三豊市様のご厚意に応えるためにも、1年でのJ2への返り咲きを果たさねばなりません。この練習場整備の話を申し上げるタイミングを待っておりました関係で、サポーターズミーティングが、本日3月3日ひなまつりの日に、それも、会場のお時間の都合も重なり、このような夜分となり大変申し訳ございません。重ねてお詫びを申し上げます。

次に経営状況の説明をさせていただきます。初めに、損益状況でございますが、2018 年度の決算は今年の1月決算でございますが、監査を受けている段階で確定ではございませんが、概略では営業収益は前年比、若干の減収、約8%の減収の見込みです。当期利益は黒字を確保できる見通しでございます。損益増減の主な要因は、営業収益ではJ2での成績低迷というのもあるのだろうと思いますが、広告料収入と入場料収入の減少によるところが大きく、また、営業費用では一般販売管理費の削減、費用の圧縮に努めました。

また、チーム人件費の勝利給の支払いが減少したことなどが黒字の要因でございます。今年、2019年度の予算は、スポンサー様からは J2 時代と同レベルの温かいご支援と J リーグからの降格支援金より収益の柱は、なんとか維持できると見ております。要は、1年で J2 に復帰するための予算としております。その他費用の節減に努め、黒字決算を見込んでおります。

次、クラブの新体制について申し上げたいと思います。

新シーズンに迎えるにあたり、これまで通り、サポーターの皆様のご支援をいただけますようクラブー丸となって取り組むべき、年度目標をご説明申し上げます。

私も、一昨年、12月に社長に就任して1年あまりになりますが、残念ながら J3 降格という結果となり、競技領域で、納得いく成果を残せませんでした。この現状からクラブ全体で起きていることを真摯に受け止め、できていなかったこと、改善すべき点を整理し、昨年12月に 2019 シーズンの会社の目標値と行動計画を策定し、役員会で承認を得ました。それがこの讃岐再生策定書、SSS と称するものでございます。(以降、SSS と表記いたしま

サポーターの皆様にも、すぐにもご説明申し上げたかったのですが、目標値から各職員、個人までの行動計画への落とし込みが会社組織として整合性に取り組む、しっかりとした計画にするためには、今もまだ、今日もまだ、練っておるところでございます。その目標設定ですが、会社の現状を深く分析し、起死回生への道を不退転の決意で臨むために、キーとなる、軸となるキーワードをつけた計画書といたしました。SSS と題し、略称 SSS と命名いたしました。これから社内を中心に SSS の精神でやる、ということが増えてくると思います。それでは骨子を簡単に紹介させていただきます。

会社の第一目標は競技部門における1年でのJ2復帰としました。これしかありえません。そのために、通常一般の会社の場合の事業計画と異なり、3年、5年といった中期計画を敢えてしておりません。1年勝負でございます。目標は競技領域が1年でJ2復帰。そして、事業領域は、サッカーを見て、楽しんでいただく興行のプロ集団への変身を掲げました。そのためには、各領域で様々な改革に精力的に取り組まねばなりません。外科的治療も必要ですし、内科的治療も徹底的に治るまでやり続けねばなりません。同時に、長期的案件も沈んでしまわぬよう忘れず、取り組んでまいります。練習場、クラブハウス、行政と協議、PDCA人材改革、このようなところが長期的案件になってくるだろうと思います。三豊市の練習場も、どういう計画でどういう形に、今からの話でございますので、長期的案件に含んでおります。

具体的には競技領域では、新たに上村新監督、西村トップチームダイレクターをリーダーとして迎え、魅力ある強いカマタマーレ讃岐を体現すべく、闘争心を浸透させ、科学的手法も取り入れてまいります。チャレンジと不屈の取り組みを理念としております。

一方の事業領域では、ガバナンスの正常化を目指して、行動規範を策定し、経営をサイエンス化していく計画です。再生のためには、仲良しサークルを廃絶し、風土改革を徹底せねばならない、という強い決意で臨みます。そのためには、たくさんの環境、プラットフォームの整備から着手せねばならず、職員が一体感を持たねば、実現は不可能です。数的人数は一時的には減りましたが、同じベクトルに沿って、連帯責任を持つ、プロ集団になるべく、改革に取り組んでまいります。

ただし、集客の部門では降格の影響を最低限に抑えるべく、ホームタウンの地道な活動が必要であると、考えております。まさに、サポーターの皆様にはご協力をお願いしておりますが、お知り合いをお誘いいただき、一人でも多くの方に、スタジアムに足を運んでいただきたいと、切にお願い申し上げます。

今、申し上げました観客動員は、運営部門です。行動規範を、全ページはカマタマーレ讃岐としての社長としての目標設定、各人の目標設定ですが、それを踏まえながら、行動規範を、目的をやり遂げるというところです。これ実は、私が社長になってから、今日もお見えですが、Jリーグのアドバイザーをお願いしていますが、カマタマーレ(の文字)を使って行動指針を作っていいただきました。

ご紹介させていただきますカマタマーレの「K 完遂する(コミットメント)」「A 挨拶をする」「M 満足させる(顧客満足度を高める)」「A あきらめない」「T 透明にわかりやすく」「A 相手を尊重する」「M 道は正しく(やっていることに大義はあるか)」「A 熱い心と冷静な脳で取り組む | 「R レビューを徹底する | 「E 笑顔で頑張る | 。

精神的な分野での行動規範、これを常に気持ちにもって、前を向いていこうということで、 香川県民の方々に捧げながら、常に感謝の念をもち、スポンサー様の感謝を忘れず、いつも 正直で誠実な行動を貫きます。香川県民の期待と、感動を感じてもらうために自らを磨きま す。地域の発展を願い、良き企業人として、社会人として、社会への奉仕に努めます。その ようなことを行動指針として、ここ一年やり遂げようと思います。

会社を主語にして、考え、進む。ルールに従う。ルーチン業務は計画に沿って、粛々とこなす。突発課題は、関係者を集めて対応する。そのようなことを社員の皆様に心がけてほしいと申し上げております。

これら、すべては、1年での J2 への復帰を目指したうえでの計画でありますので、どこかが欠けると崩れてしまう可能性もあり、日々のタスクを完成していくこと、それを注意深く見直し、タイムリーに軌道修正をしていくことが求められます。職員も初めて経験する厳しい1年になります。この SSS に取り組む職員たちへ、どうぞ今季もまた温かいご支援をお願い申し上げます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

近藤)

ありがとうございました。

川村社長)

事前にいただいた質問から、私の割り当て部分をご回答させていただければと思います。

<練習場・クラブハウスについて>

質問)

練習場の件ですが具体化しているのでしょうか。進展がないようでしたら V・長崎のように公募してみてはどうでしょうか?県下の自治体の中には、プロサッカーチームの練習場誘致に魅力を感じている市、町が有るかも知れません。以前、多度津町が練習場の提供を申し入れた事があったと思いますが、町の活性化やスポーツ振興にカマタマーレ讃岐を活用してみたいという思惑があれば手をあげてくれるかも知れません。

香川県全域をホームタウンとしているはずですが、現状は高松市以外は考えていないように思われます。クラブ支援の裾野を広げる意味でも公募というアクションも視野に入れるべきではと考えますが、クラブとしての練習場の立地条件の方向性を教えて下さい。

回答)

冒頭の私のあいさつの中に、三豊市との経緯の回答を申し上げさせていただきましたので、 その分を回答に代えさせていただければと思います。

質問)

高松市と丸亀市から支援があるとの事ですが、具体的にはどのような支援なのか、出来れば説明して下さい。支援の関係でクラブハウスの話が進んでいないのなら、他の候補はないのですか?とのご質問を受けております。

回答)

カマタマーレ讃岐のホームタウン活動は、地域密着(ふれあいを通じて、幸せなまちづくりを目指す。)地域貢献(よりよい社会づくりに貢献する。)普及活動(スポーツの素晴らしさを人々に伝える。)そんな目的実現のための活動を行っております。

例えば、朝の登校時に挨拶運動、選手も出向きます。保育施設・養護学校訪問、

地域のイベント・お祭りへの参加、清掃活動・献血等の啓蒙活動、スポーツキャラバン活動、 保育所・幼稚園・小学校でのスポーツの楽しさを体感してもらう活動、サッカースクール開催、県内4会場で実施、マルカマキッズ、丸亀市の幼稚園生にゲーム感覚でサッカーを楽しんでもらう。これは特に人気がございます。幼稚園の先生方に喜んでおられています。

これらの活動は公的設備を使うことから行政様のご支援が必要となっております。ホームタウン活動の中心はこれまでも、高松市、丸亀市、というところで、申し上げておりますが、ホームタウン活動は行政様とは切っても切れない関係ですので、具体的な様々なご支援を承っております。

質問)

四国新聞様の紙面にて、三豊市の緑ヶ丘総合運動公園での、優先練習場が整備予定との事ですが、芝生の張替について可能なスペース(ベンチ脇など支障の無い範囲)で、記念植芝など出来ないものでしょうか?

回答)

緑ヶ丘サッカー場の地下には、源泉から高瀬温泉へのパイプを敷設してあるため、困難と思いますが、J1が見え、クラブハウス建設にかかる時が時期的には、その時が最適と考えます。

質問)

三豊市民としてカマタマーレの練習拠点を作ることに強く反対します。

なぜ、三豊市民の2億3千万の税金をつぎ込んで練習拠点を作る必要があるのですか。2億

3 千万の税金をつぎ込み毎年かかる維持管理費も三豊市民が負担するのですか。それに練習拠点を作ってやることと言ったら市内の中学生らを対象としたサッカー教室。明らかに 2 億3 千万の税金をつぎ込む価値はありません。2 億3 千万と維持管理費以上のメリットを『三豊市民全員』に与えることができるとは到底思えません。三豊市民を無視した態度は非常に腹が立ちます。

回答)

なんとかご理解いただければと思いますが、維持管理費その他は、すでに、私どもから寄付できるものは、三豊市に寄付できるものは寄付し、付帯設備、空調などの整っていない部分もありましたので、ゴールなど、現状、必要なものは寄付をさせていただいております。それと、維持管理費については、当然、応分に私たちも負担すべきものはありますので、今後、そこは負担してまいります。全般的にお気持ちのところでは、私どもでは対処しようがございません。なんとか、ご理解いただければと思います。三豊市との話し合いをお願いいたします。

質問)

先日の報道で三豊市が練習場整備費を2019年度の予算案に計上していただけると有りました。予算案が議会で通る様で有れば、チームは当然結果を残す事で期待に応えて欲しいです。記事中には「J1に昇格出来る様で有ればクラブハウスも・・・」と有りましたが、グラウンド整備に合わせてクラブハウスも同時に用意出来る様、自己資金や寄付金を集めてカマタマ側から三豊市に働き掛ける考えは有りますか?作って貰うというよりも作るという意志が大切だと思います。改修の方が新築するよりも費用は少なくて済むと思われますので。

回答)

冒頭の私の挨拶でも申し上げましたが、もちろん、カマタマーレ讃岐は、チームは結果で示さなければならいと考えております。上村監督もその考えであります。

設備の利用方法については、応分の負担の話し合いは行っております。すでに一部設備の 寄贈はさせていただいております。

クラブハウスの機能につきましては、若干の手狭感はありますが、機能的には充分 利用させて頂けると考えております。

クラブとしてJ1の申請をJリーグに提出するタイミングで、改めてクラブハウスについての話し合いになろうと考えます。改修か新築かの点では、私どもからは改修で充分と申し上げております。

<人事関連について>

質問)

今シーズンは、ベテランクラブスタッフが多数退職しましたが原因は何だったのでしょうか?

回答)

まとめて、原因がなんだったと申しづらいので、ほとんどは自己都合の退職だったので、お名前は言えませんが、申し上げます。2019年1月31日限りで退社なされた方々は、次の通りです。

- ① (社員)長年サッカーの会社で働いたので、違う世界で自分を試してみたい。私が昨年 社長に就任した時から、この話は伺っておりました。
- ② (契約社員)新チーム組成の段階で新チームに猛烈な反対意思を示されたので、契約期限(2019年1月31日)までの契約料はお支払する約束の上、11月18日からは事務所への出社は不要とし契約満了させていただきました。
- ③ (社員、元選手)他クラブから移籍の打診を受けている。
- 11月に伺っておりました。
- ④ (社員、1年5か月) 自宅に近い企業 (丸亀市) への転職が決まったため。
- ⑤ (社員、1年3か月) 母親の介護のため香川へ戻られていたが、母親のご逝去にともない元の職業 (デザイナー) へ戻る。昨年2月時点で伺っておりました。
- ⑥ (業務請負) 集客のための企画をお願いしていたが、11 月のシーズン終了と共に、退社。
- (7) (社員、8か月) 体調不良にて退社の申し出であったもの。

ほとんど、自己都合での退職ですが、ここに理由を申し上げさせていただきます。

質問)

池端さんが退社されましたが、このように、長くあなた方の会社に貢献された社員は引退 選手と同じようにセレモニーにしないのでしょうか?

回答)

池端さんが、皆様に愛されていたことがよくわかります。有難うございます。しかし、私 ども株式会社カマタマーレ讃岐は、選手という財産を有してサッカー・ゲームを興行として 運営する普通の企業でございます。普通の企業の社員の引退セレモニーは、ちょっと、考え にくいと思います。

<その他>

質問)

情報公開、説明責任という言葉が重要といわれています。情報は隠すより、可能な限り提供するということを優先して欲しい。公式発表が無いことで、無用の混乱が起こることもあります。昨年の上村、西村両コーチの不在問題はその最たるものでしょう。現場のナンバー2.3 がクラブから何らの公式発表もなく練習、試合に参加しないという状態は、おおよそプロスポーツチームの体を成していないと言えるでしょう。そのことによって、上村現監督を少なからず傷つけることになったと思います。

情報公開することで憶測やデマ(特にネット上)からクラブを守るという意味もあります。

回答)

私どもも、公開すべき内容のものは、出来るだけ適時にホームページや、メデイアに情報 提供申し上げておりますが、情報公開の中で最も注意を有するのが、「プライバシーの保護」 の観点でございます。(組織図を指して)こちらの部門で、ガバナンス部分を重要視してお ります。社内で公開すべきではない情報が出て、それに気づいたときはすでに時すでに遅し、 ということがございましたので、こういう管理体制を敷く、ということにさせていただきま した。情報公開は、先ほど申し上げました SSS の中でも需要な改善点にしております。ホ ームページの修復、情報発信のプロセス・ガバナンスなど、取り組みは開始しており皆様の ご期待に添えるものになると考えております。

質問)

昨年末から今年にかけて多くの職員の方が退職されたと耳にしておりますが、一時期に まとまった人数が退職された根本的な要因は、どのような点にあるとお考えでしょうか

回答)

退職者が多数出ましたことは、組織としては大変残念ですが、経営側も一層の努力をしていきたいと思います。辞職理由としては、希望退職が主なもので、個人個人の考え方は尊重したいと思います。その為にも、会社存続のための SSS を軸として、決意ある部隊で進んでゆくつもりでございます。

質問)

今回のような職員の方の離職をなるべく防いで、持続可能性に富んだ強固な組織を構築 するために、今後どのようなことに取り組んで行かれるご予定でしょうか。

注釈がありますが、少し長文になりますので、省略させていただきます。川村社長ご自身が発信いただくことは、今後、貴クラブが職員の採用活動を展開するうえでも、非常に有意義なものと考えます。

回答)

一人一人の社員の去就につきましては、先ほどご説明いたしました通りでございますが、 ご質問の通り、今は、持続的に発展可能な組織創りを目指しております。そしてその役目を、 SSS に託しております。

先に申し上げましたが、株式会社カマタマーレ讃岐として今、短期的(1年)に必達すべきこと、競技領域では、1年で J2 への復帰することと、練習場やクラブハウス案を練り上げ、行政と協議すること。

事業領域では、興行を行うプロ集団へ変身すること。数値目標必達の精神の醸成と人財改革。「PDCA」、特に集客は「PDCA」と考えております。

中長期的には、J2への復帰後は、再度カマタマーレ讃岐のビジョンであるJ1への道に挑戦すること。そして、そのことが香川県の活性化に最も貢献できることと考えており、それが私どもカマタマーレ讃岐の企業理念でございます。

質問)

今季初めのスタッフの大量辞職についてはやはり社長から一言ないとファン、サポーターとしては先に進めないと思う。一般の会社でもよくある事ですが、やはりカマタマーレは人気商売と言うか、選手だけではなく、各スタッフさんにもファンはついていると思うので。皆で問題を共有した後で今季はスタッフ、フロント、選手、ファン、サポーターそれぞれがお互いに感謝の気持ちを忘れずに進んでいけたらいいと思う。

回答)

スタッフの退職の問題については、ここまで縷縷、申し上げてきましたが、ここで、有難いご意見を頂きました。各スタッフにもファンがあり、皆で問題を共有して、今季は、スタッフ・フロント・選手・ファン・サポーターそれぞれが、お互いに感謝の気持ちを忘れずに進んでいけたらいいと思う。地方の市民クラブ的な寄り合いクラブは、大きいクラブとは異なり、この「結束」がなければ前へ進まない。私はそう思ってまいりました。上村監督も特に、この思が強い監督です。どうぞよろしくお願いいたします。こちらからもお願い申し上げます。

質問)

今後の J2 昇格に向けてクラブ体制の立て直し方針を教えて頂けないでしょうか?

回答)

冒頭のご挨拶に SSS の内容に触れながらご説明させて頂きました。

1年でJ2復帰を目標としているが、もちろん今年は好成績をおさめて1年でのJ2復帰をしてくれるものだと信じています。しかしながら、クラブとして中長期ビジョンを持たないと再度降格してしまうと思われる。チーム強化、クラブ自身の体力強化に対する中長期ビジョンを聞かせて貰いたい。

回答)

これまでも、明確な中長期ビジョンは社内外で共有できていなかったと反省しております。 IFLから昇格し、がむしゃらに目の前の試合に勝つことを目指してきました。

しかしながら、それでも、2016 年、J2 昇格 3 年目、この年の順位目標は、残留で中長期計画は策定してあります。計画の内容は、2018 年度 J2 順位、 $7\sim10$ 位。2019 年度 J2 順位、6 位以内です。右肩上がりに順位を上げて、2020 年に J1 という計画でした。しかしながら、その後の成績が芳しくなく、資金予算も大幅な狂いが発生し、あるが無き、中長期計画になっております。

昨今、その中長期的視点、クラブフィロソフィ、フットパスといったものが注目されており、弊社もそれを構築していかねばならないと痛感しております。

繰り返しになりますが、カマタマーレ讃岐のビジョンは「J1への道」を登りきること。 「J1への道」を登りきることで、香川県の活性化に貢献することが企業の理念です。

「J1~の道」を登りきるためには、そのスタート位置である「J2」にできるだけ早く、1年で復帰しなければならない。

その為に、目の前の試合に勝ち、1年復帰をSSSの一丁目1番地に掲げました。 困難さも付きまとうと思われますが、まずは、J2. 短期決戦の年にしたわけです。

中長期の計画では、J2 に戻らないと、今、現時点の J3 の段階で、中長期も難しい。まずは、J2 にもどらないと、中長期も難しい。敢えて、J2 復帰を 1 年の計画の基準にしています。

質問)

J3 優勝を掴むためにモチベーションを上げる必要があります。優勝したら、選手とスタッフにボーナスを出しませんか?

回答)

優勝ボーナスは社内事情もありますので公表は遠慮させていただきます。選手は勝利給などのボーナスがありますが、社員は、営業評価による評価になるかと思います。

次、クラブハウス、練習場の件何も、進展がない?このチームを、どうしたいのか?カマタマーレ讃岐というチームを、この先 J1 どういう舞台に、たたせたいのか?この先、何年後かには、それを、考えているのか?

回答)

冒頭の私からのご挨拶などで、申し上げてまいりましたが、この先のビジョンにつきましても、会社にとって軸となる非常に重要な経営指標です。

現状では不明瞭であり、それが原因とは言わないまでも、各領域がバラバラな方針で一体 感のない時代がつづいてきました。

SSSは、J2復帰という特異な状況したで仕上げた、直近1年の目標値でございます。 同時に将来構想をしっかりと打ち立てるために、大株主、役員、社員で共有してまいります。

質問)

この先、カマタマーレ讃岐というチームを、どうしたいのか?自分としては、やはり何年か先には、J1という舞台で、やれる事を、願っています。その辺を、はっきりして欲しい

回答)

先のお返事と同じとさせていただければと思います。

川村社長)

一応、いただきました質問、私が答える筋かなと思う部分は、応えさせていただきました。 今後ともよろしくお願いいたします。

この後、事業部関連は、岩澤常務よりお答えさせていただきます。

途中むせ返り、大変失礼いたしました。

近藤)

ありがとうございました。続きまして、常務取締役の岩澤より事前に質問を受けておりました質問につきまして、お答えさせていただきます。それでは、岩澤常務よろしくお願いいたします。

岩澤)

岩澤です。よろしくお願いいたします。座ってご説明させていただきます。

2月18日に渡邊大剛選手が引退されたということですが、引退セレモニーができないか

回答)

引退セレモニーについては、クラブとしても強く選手に要望をいたしましたが、本人の意 向が強く、実施しないということになりましたので、ご了解いただければと思います。

質問)

続きまして、ファンサービスのマナーなどについてはホームページにきちんと明記があるのですが、出待ちの場所とかも練習場の紹介のページに示していただけると、私の様な初心者にもわかりやすくなっていいなと思います。

回答)

練習見学来ていただいてありがとうございます。

現状チームは高松市、丸亀市、三豊市など複数の練習場施設を使用しており、それぞれのファンサービスエリアが異なるため、一概にしてファンサービスエリアを発表しておりません。

駐車場内でのファンサービスは一般の施設利用者また施設側にもご迷惑をおかけすることになりますので、ご遠慮下さい。

またクラブ公式 SNS、ツイッターでは当日のご案内等を発信しておりますので、ご覧いただければと思います。また、当日練習場にはクラブスタッフが常駐しておりますので、ご不明な等がありましたらお気軽にお問い合わせください。

質問)

質問が非常に多かった、集客については要約をしますと、

昨年観客動員が大きく落ち込んだ要因を分析をしているのか。今年度、どういう計画、目標 を立てているか。ということでした。

回答)

一昨年は一試合平均約3800人の来場者がありましたが、昨年は約3000人と800人減少しました。要因としては、ホームで勝利が少なったこと、台風などで2度延期があったこともあると思いますが、イベントも各種展開いたしましたが、来場者満足度はそれなりに高かったと思っていますが、「そのイベントを目的に行きたくなる」というような、新規来場促進につながるイベントではなかったと分析しています。

観客増加策としては、地道なホームタウン活動がまず大事と考えています。幼稚園、小学

校などへの選手の派遣、地域イベントへの参加など今年度も進めております。低予算の中で、 大規模な集客イベントは難しいですが、新規顧客増につながるイベントを工夫しながら、実 施していきたいと考えています。

メディアの活用を今年もしていきたいと思います。J3 になるとメディア露出が少なくなると思います。そこで現在、地元テレビ局数社と「メディアパートナー契約」の交渉を進めておりまして、メディアパートナーになっていただければ、試合告知のスポット広告、カマタマ特集番組の放送などをしてもらうことになると思います。

テレビ局、メディアパートナーとして関係を深めていって、露出を増やせていたければと 思います。昨年降格はしましたが、J2 時代の昨年の平均観客数である一試合 3000 人を目標 観客数と設定しています。

質問)

夢パス事業はとてもよい企画なので、引き続き続けて欲しいのですが、たとえば、夢パス 一枚につき親も一人は初回無料などあると連れていく親としてもハードルが低くなるし、 その中の何割かはリピーターになりそうな気がします。

回答)

夢パス事業は今年も継続いたします。小学生 B 席、無料ということでよろしくお願いいたします。昨年までも夢パス保有者の親御さんへの割引企画などを実施してきましたが、今年も効果的な策を検討してまいります。

質問)

アウェイゲームで岡山戦の観戦に行った時にピッチサイドで観戦していたのを確認しました、いわゆるピッチサイドシートですが、ピカラスタジアムでもやれませんか?

回答)

ピッチサイドシートの設置は以前、検討いたしましたが、会場使用料が最高価格の基準となるため、価格設定が難しく、スポンサーさんとのタイアップで営業を進めたこともあります。しかし、まだ現在、実現には至っておりません。今後、どうするか、考えていきたいと思います。

ホームゲームをピカラスタジアム以外の球技場、例えばJリーグのチームがない四国なら高知県での開催を実施することはどうでしょうか?

回答)

ご提案ありがとうございます。今シーズンのホームゲームはすべて丸亀・ピカラスタジアムで実施予定です。

質問)

小さな香川県ですが、うどん以外に「うちわ、手袋、漆器、下駄」等の高品質な工芸品があります。また、瀬戸内海にある島々をフェリーで渡れば、都会にはない自然が満喫できます。県外から来る他チームのサポーターに、そのような香川県の観光を伝える(もしくは販売する)ブースを設置してはどうでしょうか。

回答)

ホームゲームでは、香川県様が毎試合「アウェーおもてなしブース」を出店し、県産品や観光地のPRをしてくださっています。県内観光地へのアウエーサポーターの誘導、情報提供な今後、ホームページなどを通じた情報提供などで、試合を見に来た方を観光へと導くようにしていきたいと思っております。

質問)

サッカー観戦時に新鮮な野菜などを販売できる場を作れば、主婦層が来場するきっかけができるのではないでしょうか。また県外サポーターも、そうした場があれば購入されるのではないでしょうか。特に関東や関西など都心部から来られる方は、地方の新鮮な野菜は特に喜ばれるのではないでしょうか。マルナカさん、地元農協に協力いただければ、スタジアム周辺が盛り上がるのではないかと考えています。

回答)

昨年も複数回、フリーマーケットはいたしましたが、集客・にぎわいづくりのための産直 関係はあったほうがいいのではないか、ということで、今後、関係機関とも協議のうえ、今 後、検討していきたいと考えています。

カマタマーレ讃岐はチーム名、エンブレムからもわかるように、うどんリスペクトです。 ならばもっともっと県民のうどん愛に訴えるべきではないでしょうか。現状は一部のうど ん店でカマタマのポスターを目にするぐらいで客の関心もありませか提案ですが、本場讃 岐うどん組合ともっと連携と協力をお願いしてもらえませんか

回答)

この質問の中にも、うどん組合さんの名前が出てくるのですが、そのような組合、スポンサーをしてくださっている企業様とはうどん関連のことで、話し合いをさせていただいております。その中で、昨年11月に、石丸製麺様のご協力で、カマタマーレ讃岐うどんを出させていただきました、このようなことがそれの成果であると思います。

今後も機会があればこのような企画を検討していきたいと思います。よろしくお願いい たします。

質問)

たくさんの小学生にカマタマに興味を持ってもらって、将来のカマタマを支えるサポーター作りが重要だと考えますので、例えば「カマタマ」をテーマにした夏休みの自由研究や工作、ポスターなどを募集し、優秀な作品には試合前のイベントで表彰したり、ピカスタ内に展示を行うことはどうでしょうか。展示をすれば、親御さんがその子供を連れて、スタジアムを訪れてくれるのではないでしょうか。

回答)

これは夏休み期間中のイベントとして、検討させていただきます。ご提案ありがとうございます。

質問)

カマタマーレ讃岐は、ホームタウンデーは高松・丸亀・さぬき・三豊の4市のみであり地域との連携がとれているのか疑問を感じます。丸亀駅も、バス・電車、ホームスタジアムがある駅とは到底思えないので、今後の取り組みを教えてください。

回答)

さぬき市様、三豊市様は、一昨年くらいからお願いして、ホームタウンで一ではなく、サンクスデーをさせていただきます。あとは、中讃の2市4町、瀬戸内中讃定住自立圏も、ホームタウンデーをやっていただいております。しかしながら、17市町でサンクスデー、ホームタウンデーができているわけではないので、スタジアムに近い中讃地区を中心に、お願いをしていく働きかけを進めていきたいと思います。

丸亀駅を降りてのホームタウン感がないということで、昨年から、最寄り駅の一つである 金蔵寺駅では、JR四国様や香川県様の協力を得て、のぼりを3本付けたり、駅の中にポス ターを掲示したりと、無人駅ですが、カマタマーレ色が強くなっている。

カマタマーレ讃岐のホームスタジアムの最寄りである丸亀駅、ホームタウン色を強めていきたいと思いますので、丸亀駅様、JR四国様と協力をしながら、降りたら、「あっ、今日はカマタマーレ讃岐の試合があるのだな」と思っていただけるようにしたいと思います。

質問)

ボランティアに関して、試合当日は家庭の事情でまだできないが、平日の昼間に出来る事などあればやりたいという主婦層もいるのではないか。チームにニーズがあるかはわかりませんが。

回答)

ホームゲーム時のボランティアとして、今シーズンも引き続きご協力いただく予定です。 リーグ戦が週末に開催される以上、平日でのお手伝いいただく機会を作るのが難しいのが 現状です。ここはご理解をいただければと思います。

質問)

今年からはグッズの規制緩和でグッズが作りやすくなっているという点を踏まえて、現時点で、公表できるものがあれば教えていただければと思います。また、グッズ案を募集してもいいのではないか。

回答)

現時点、公表できるものはございませんが、また、計画がまとまればお伝えできればと思います。また、「こういうグッズがあればいいよね」というものがあれば、それができるかどうかは別にして、そのようなご意見をいただければと思います。宜しくお願いいたします。

質問)

質問というか希望ですが、まだまだ顔が覚えられないので開幕前にでも出来れば監督、選手、スタッフの紹介 VTR の DVD でも販売してほしいです。ご検討下さい。

回答)

貴重な提案、ありがとうございます。費用面等で可能かどうか、来年度以降の課題として 検討させていただきます。

HPにつきましては、トップ画面のクラブ欄にあるヒストリーや概要などが未更新のままですが更新する予定はありますか?

回答)

ホームページをスマホ対応して一年弱のため、未整備の部分があることはお詫び申し上げます。質問があった部分に関しましては、可能な部分から改善を進めてまいります。

質問)

サポーターズミーティングですが、通常、もうちょっと早い時期ですが、この時期になったことについて

回答)

先ほど、社長の川村からもありましたが、練習場などの事情もありまして、この時期になりました。来年度以降は、もう少し早められるのであれば早めるということで、改善の計画とさせていただきます。

質問)

ファンクラブ、シーズンパスの特典について、現状の特典ではファン・サポーターが増えないのではないか、特典で引き付けるというようなことにならないのではないか

回答)

というご提案というかご指摘なのですが、確かに、ファンクラブ、シーズンパスは、特典 は検討課題で、加入者メリットがより高まる方向で考えていきます。

質問)

(スローガンの)「結束」する中にサポーターは含まれているのか。もし含まれているのであれば、それを実現するためにどのような施策を行うのかということについて具体的にお聞かせください。

回答)

サポーターの皆様には今年も各エリアでポスター貼りなどをしてくださり、ありがとう ございます。今日も3か所でポスターを張っていただいておりまして、本当にありがとうご ざいます。スローガンの「結束」は、当然のことながら、ファン・サポーター・ボランティ アの皆様との結束も最重要なもののひとつです。サポーターの皆様が、お知り合いをスタジ アムにお誘いいただく、また、クラブに要望・提言等あれば積極的にしていただき、結束し て、「魅力あるクラブ」にしていければ、と考えております。

サッカーはサポーターなくして成立は当然、しません。降格となった特に昨年、何が欠けていたのかは一体感ではなかったかと思います。選手、監督、フロント、サポーター、メディア、それぞれの意見をお持ちであることは当然なのですが、どうしても主軸になる1本ができなかった。今回は上村新監督のもと、同じ思いで集まって、各自が責任を果たし、献身的に協力して結果を出そうというものです。社内は SSS でまとまろうとしております。どうかサポーターの皆様、メディアの皆様も今日の SSS にご賛同いただき、これまで以上のご支援を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

質問)

今季 2019 シーズンにおいて、ファン・サポーターにお願いしたいこと、期待していることは何ですか?

回答)

いろんな方にお声をかけて、スタジアムにお誘いいただければと思います。来ていただかなくても、昨年もお願いしましたが、カマタマーレ讃岐の魅力を一番よく知る皆様がその思いを込めて職場や、学校、近所で話題にすることによって、カマタマーレの良さをいろんな人に知ってもらえればと思います。その辺をお願いできればと思います。

質問)

今季 2019 シーズンにおいて、県外遠方(四国や岡山以外の地域)にいるファン・サポーターにお願いしたいこと、期待していることは何ですか?

回答)

里帰りなどの機会があれば、スタジアムにお足をお運びくだされば、ありがたく存じます。 夏休みに帰省した場合で言うと、県外の方ではなく、県内の方に同窓会をやるときに、カマタマーレの試合を見に行こうよ。という声をかお子変えかけしてくれればと思います。試合は見に行けない方は、ある種ふるさと納税のような形で、ファンクラブへの加入もご検討いただければありがいです。以上で、事前に質問いただいておりました質問にお答えさせていただきました。

近藤)

はい。ありがとうございました。

それでは私の方から、2019 年シーズンの運営等の変更点につきまして、ご説明をさせていただきます。先日、ホームページで待機列の件でご案内させていただきましたが試合当日の待機列の確保時間ですが、キックオフ 4 時間前から試合当日の午前 7 時に変更させていただいております。こちらにつきましては、待機列を早く確保したいということで朝早くから競技場周辺で、座り込みをされている方が多数いらっしゃいましたので、そちらの解消を目的としてそうさせていただいています。

また、アウェイの方が多い時も待機列の確保をするための待機列を作っていただくような状況もございましたので、このような形で今シーズンは実施させていただくという形で、よろしくお願いいたします。

また、Pikara スタジアムは現在、メインスタンドで、現在、外壁の補修工事を行っております。そちらの足場の関係で、メインデッキの下の通路が通行止めになっているところがありまして、また駐輪場も、バイクを置いているところも、使用は可能ですが、出入り口が狭くなっているのでご利用の際は、ご注意いただければと思います。また、こちらの足場の関係で申し訳ありませんが、5月の末まで工事は実施となっていますが、その期間中は、試合終了後の選手のファンサービスは実施しないようになりますので、その点、ご理解をいただければと思っております。

また、弊クラブのスポンサー様の関係で、バックスタンド B 席のコンコースからスタンドに入るいくつかの入場口の上の部分に弊クラブのスポンサー様の幕が掲出されますので、ご理解くださいますようにお願いいたします。あわせて、大型映像装置の横の旗が出るポールがたくさん立っていると思うのですが、そこにつきましても、弊クラブスポンサー様の旗が 2019 年シーズン入ってくるような形になりますので、ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

運営につきましては以上とさせていただきます。サポーターの皆様には、決められたルールでご理解いただきまして、誰でも楽しめるスタジアムを作っていただければと思いますので、ご協力をお願いいたします。

続きまして、西村トップチームダイレクターより、今シーズンのチーム編成状況などを説明させていただきます。

西村)

今日は、雨の中、足元の悪い中、サポーターミーティング来ていただきまして誠にありが とうございます。今シーズンからトップチームのダイレクターをさせていただいておりま す、西村と申します。強化方針とチームの編成につきまして簡単にご説明させていただきま す。

社長の川村も言いましたが、今年は1年で J2 復帰、昇格を目標としております。それを達成するために、チームのコンセプトとしては「その目標に向かって努力を持続できるチーム」。いろいろ、困難な状況あると思います、その中でも目標の J2 に向かって持続できるチームを 1 年間作っていきたいと思っております。その強化方針です。 1 番目に戦術対応力といって、頭の整理。各システムあると思います。(フォーメーションで) 3-4-3、4-4-2、4-1-4-1、いろいろあると思います。対戦相手もいろいろやってくると思います。その中で、4-4-2 に対してこちらが 3-4-3 を採った時には、どのようなメリットがあって、どのようなデメリットがあるかということを各選手に理解してもらう作業をやってもらいます。その中で相手のやり方を瞬時に判断して、いかに(相手の)デメリットを突くか、(自チームの)メリットを構築していくか。というのを個々で判断できるようにトレーニングをやっていけるようになします。それをチームとして実行していけるように、まずは、強化方針としています。

2つ目は、人間力、心の整理としておりますが社長と申しておりましたが、人間力、精神力を上げていかないと、僕はいけないと思います。なので、その考え方をいろいろと整理してもらおうと思っております。その中で、傾聴力といって、人の意見を聞こうということで、卑屈な考え、否定的なこと、感情に、去年のチームはなってしまいましたが、そうではなくて、相手を受け入れて、人の話を聞くとしています。その中で、聞いているだけではだめだと思うので、その中で主張、自分の意見をどのように主張していくのか、それは、チームの成長につながる言動ですね、コミュニケーションの変化、攻撃的文句批判ではなくて、提言とか提案、助言、励まし、「こうしていこう!」「ああしていこう!」というのをチームとしてやっていこうという考えでいます。

あとは、監督も申しておりましたが、基本的には走力もあげていこう。体力の向上、基本的には 90 分間、相手に絶対に走り負けない。相手を圧倒する、的確にそれを動きながら、隙を与えずに、圧倒するということで、J2 に上がろうという考えでいます。あとは、それに伴う、技術の向上、オンザボールといって、ボールを持っているときにどういうことをしなければいけないのか。そこのきめ細やかさ。あとは、ボールを持っていないときに、いつどのタイミングで、どこに動くのか、というそういうところの整理、技術の向上をしっかりやっていこうと考えています。それが強化方針で、今年度のチームの構成は、既存の選手が 20人、契約で残ってくれました。

そこに新規の選手が10人、今季から加入します。やっぱりGKは、しっかり攻撃力を上げていこうと考えていますので、そこのビルドアップをやれる選手(服部一輝)、さらにこ

のセンターバック 2 人、ペ・スヨン、西野(貴治)の二人もそういうこと(ビルドアップ)ができます。サイドバック、(柳田健太)これは上村の教え子でもあって、戦術理解度がとても高い選手で、すぐにそれを表現できる選手です。澤田選手はユースからの昇格です。赤星(雄祐)も、上村の教え子であって、戦術理解度がかなり高いです。そこの中で、しっかりプレー出来て、整理ができる選手です。同じく、池谷(友喜)もロアッソ熊本から来て、上村の教え子しかり、戦術を理解しております。あと、この二人(渡辺悠雅、中村亮)の二人も即戦力です。サイドのプレーヤーで、二人ともかなり(スピードが)早いです。上村がサイドのスピード早い選手を獲得してくれ、と言われたので、獲得してきました。明治大学のプレーヤー(渡辺悠雅)、阪南大学のプレーヤー(中村亮)、ドリブルが両方得意です。あとは点が取れるために、木島良輔は必要と思い、今季、加入しました。この10人を新規加入として、現体制は30人でやっていきます。

スタッフは上村、はじめ、上村の理解している二人が入ってくれました。(石原田啓太へッドコーチ、松下邦昭コーチ) それに、JFA アカデミーから GK コーチ (藤井泰行) が来てくれました。テクニカルコーチが、しっかりと戦術理解をしてくれている片岡 (裕太)、チーフトレーナー (小林隆一) と兼任トレーナ (星野洋時) が新しく入って、主務がもう一人増えました (鈴木智也)。(合計で) 12人になっております。

アカデミーも 10人の体制、スタッフでやっています。

アカデミーで、U-18 で合計 32 人。U-15 のカテゴリに所属して、昇格した選手が全部で 23 人と、これだけの選手を育てています。

もう一つ下のカテゴリで、ジュニアユースのカテゴリでは58人。スクールから昇格してきた選手が、半分くらいの選手。全部で90人の体制で、今指導しています。

スクールで加入しているのが、全部で 329 名ですが、このような草の根の活動として、 もっと人数を増やしていければと考えています。

以上となります。短い間でしたが、ご清聴ありがとうございます。

近藤)

西村ダイレクターありがとうございました。

少し、時間の関係もありますが、ただいまより、質疑応答に移らせていただきます。 私の方から指名させていただきまして、マイクをお渡ししますので、マイクを受け取った ら質問をお願いいたします。質問はおひとり様、1点で手短にお願いいたします。

それではご質問のある方は挙手をお願いいたします。

質問者 1)

今日、川村社長の話を聞いていまして、触れていただけるかなと思っていたのですけど、今年2月に入ってから2度ほどお問い合わせフォームから質問をさせていただいたのですが、辞めるとおっしゃっていた小川氏の去就お問い合わせをいたしました。2度ほどしたので

すが、お返事いただけなかったので、今日触れていただけるかなと思ってきたのですが、触れていただけなかったので、実際どうなのか、もし残られているのであれば、カマタマーレ讃岐にどういう旨味をもってきてもらえるのでしょうか。どういう、魅力を引き出してくれるのか。どういう仕事をしてくれているのか。教えていただきたいです。

社長)

質問ありがとうございます。小川さんは、従来のトップチーム統括部長という肩書きは2月1日より、おろしております。年末ごろから今日申し上げた、三豊市との練習場の話やJリーグから人を1人お迎えしたいな。と思いながら動いていますが、私の社長の特命事項を遂行するという立ち位置で、主に社内の中で私の指示を解決してもらっています。特に緑ヶ丘の練習場やクラブハウスの話になってくると、私ども社内にプロがおりませんので、小川さんのノウハウがどうしても、クラブハウスを仕上げるまでに必要なので、私を手伝ってほしいということで、私から慰留して、ゆくゆくはJリーグから来てくれるかはわからないですが、そこと経営企画室ということで、社長、常務、社員ところから少し離れた立ち位置で、主には練習場とクラブハウスまでの行政との相談事項、こういうものを仕上げてほしい、という話も頼んであります。

社長の特命事項を遂行する係として。競技・運営部門長がないのが、おかしいですが、現 状、トップチームダイレクターは西村さんにお願いし、アカデミーダイレクターは高見さん にお願いしていますけど、この中の部門(競技・運営部門)は不在です。

予算を見て、手狭な世界で仕事しておりますので、総務財務の手伝いをしてもらいながら、 (小川さんに)来ていただいています。現実、私どもの社内のスタッフで練習場とクラブハウスを理解して、解決できる人がいませんので、現状お願いしております。皆様方から言われていることは重々承知の上、させていただいております。ご理解をいただければと思います。

近藤)

ありがとうございました。続いての方はいらっしゃいますか。

質問者 2)

観客動員数ですが、目標3000人ということを常務の方から言われたと思いますが、J2にいたときに、徳島(ヴォルティス)とか愛媛(FC)とかは、(ファジアーノ)岡山とか(レノファ)山口とか近場でアウェイチームがあったから応援に来てくれたと思います。

僕らも、アウェイに行けたと思います。今度、J3 に落ちてしまったら、もう、遠くの方からわざわざ、来てくれる人はいないと思うので、ここの香川県民の人が増えることしか考えられない、と思うのですが。

それで今日チラシ配りに行ったのですが、それだったらパブリックビューイングをでき

るだけ、17試合など多くして、新しいサポーターになってもらい、スタジアムにきてもらわないと、今の常務の言い方だと、ピカスタで楽しむようにと言っても、3000人は来ないと思います。

川村社長)

確かに J3 での観客動員は難しい部分があるかと思います。それで、今季の予算を立てるときにそんな思いから、(2018 年) 10 月から予算書に取り掛かった時に、チームがわずかな望みにかけても、J2 に残留すると申し上げましたが、予算を作るときに別の考えも働きますので、現実的には J3 に降格してしまうこともあるかと思いますので、当初の予算では J2 に残留した時の今年の予算、J3 に残った時の今年の予算で、観客動員数をどうみるかというところで、昨年の実績は 3073 人ですので、2500 人したのです。当初の計画は。

ところが形が決まってから、沖縄の (FC) 琉球の平均観客数が 2570 人くらい。私共の計画を上回る実績を残しているので沖縄の方には申し訳ありませんが、沖縄に四国が負けるわけにはいかんだろうというところで、予算を作るのには、2500 人でしたが、今年になって1月7日頃になって、平均入場者数は 3000 人に指示して、直してもらって、いろんな比較、メディアに働きかけるなどの従来通りやっていたのでは、よくないし、もちろん、チームにはおもしろい試合をやってもらわなければならないし、個々の戦略は急遽決めたこともあるので、頑張ってやっていきたいと思います。そのうえで、ご支援いただければと思います。

質問者 2)

パブリックビューイングは増やすつもりはあるんですか?

川村社長)

これは、丸亀でやると、高松市との予算折版のような形になって話し合わなければならないので、絶対にやらなければならないし、追加でやるのは、また別の話になってきます。

岩澤)

今、ありましたように、予算上の 2500 人から 3000 人に増やしました。アウェイ頼みで、 去年まで来てた部分があるのですが、やっぱり、地元でカマタマーレのファンを増やしてい く。アウェイに左右されない努力をしていこうと思って、あえて、高い目標を立てたことも あります。皆様もご協力をぜひよろしくお願いいたします。

近藤)

残り時間もわずかになってきておりますので、最後の質問を受け付けさせていただければと思っております。

質問者 3)

ボランティアに出ているものです。観客動員が(FC)琉球の数で決めたというのも、あの、情けなくて、言葉もでない。というのは皆さん思っていることだと思うのです。それはとりあえず、置いておいて。今年、結束ということで、サポーターも結束しなあかん、というお話ありましたけど、先ほど、おっしゃった、クラブ内は SSS ですかね。これで結束していただくとしてサポーターも SSS に賛同して、結束してください。と、いうお話なのですが、まず、この SSS が初めて聞いたもので、今、そこの画面(SSS の資料)にも出ていましたが、当然静止画も取れないし、録音もできないし、今初めて聞いたものを理解しろと言われても、ちょっと難しい。

まず、一つ、社長にお伺いしたいのが、結束するために、やっぱり情報は共有しないといけない。というのは基本ですよね。そのために、どういうことを今年していくか、というのを具体的にお伺いしてきたい。そのうえで、質問が続きますので。

川村社長)

まずは情報の共有ですね。それと 2500 人というのは、あいいう言い方しましたけど、実は 1 年で J2 に戻るためには、絶対に必要なのはトップチームの選手の補強。その費用を賄うために、どうしてもスポンサー料収入と、冒頭のあいさつでは前年並みのご協力を(スポンサー様から)いただいているというお話もしていましたが、若干は減っています。

それと、そこは最低限、去年並みを維持するとして、観客、集客の増加を図らなければならない。当初、2500人だったのを(FC)琉球の数字が一つ指標だったのとお話しましたけど、そこから3000人に増やしました。それから情報の共有のお話です。基本的な情報の共有は、プライバシーの保護の観点から事実の情報については、ホームページを通じてメディアの方にお届けしたり、ホームページで話したり、ホームページでの事実の公表をしたり、させていただいております。

ただ、プライバシーに関することは十分気を付けてやらなければならない。どこの会社にもあると思うのですが、社内情報は社外へ出て行っていいのか、というところもございますので、情報の管理をチェックしております。皆様方と共有しなければならないゲームの結果、日々の活動、そのあたりはきちんと、情報共有していきたいし、そのようになっていければありがたいと思っていければと思います。

質問者 3)

そもそもの根本的な認識が違うと思うのですが、共有というのはお互いの考えを理解して、それをすり合わせていくことだと思うのですよ。先ほどからおっしゃることを聞くと、 クラブから情報を発信するという一方的な話しになっている。

そのために、サポーターミーティングをもっと早い時期にせないかん。今からだったら、 開幕に間に合いませんよね。さっきの選手の紹介 DVD の話は来年度検討してまいります。 これ、年末に(サポーターミーティング)できていたら、今年できたかもしれない。

こういうこと、共有しながら結束していくためには、サポーターミーティングというのをもっと開かないといかん。と思います。先程はからずも、社長の方から各試合に観客動員はPDCAを意識してやっていく。クラブでどのようにやっていくつもりか、わかりませんけれども、一つ提案としては各試合の日に、各常務なり、社長なりがきていただいて、バックスタンドの裏でサポーターミーティングをやっていきたいなと、各試合後です。毎試合。次のサポーターミーティング1年後であれば、進まない。その点については、いかがですか。社長。毎回は難しいかもしれませんが、社長なり、常務なり、役員かどなたが、現場の部長レベルでもどなたか、でてきてサポーターと話ができるのではないか。

川村社長)

迂闊に返事ができない部分もあるのですが、昨年(2018年)6月(30日)、東京V戦のあとで、一昨年(2017年)に、全然、練習場の話が進んでいないことの現状の説明をしてほしい。ということで、9時くらいからお話させていただいたことはございます。

今年のサポーターミーティングが遅れたのは、本当に練習場がなんとか、片が付きそうということを申し上げたくて、三豊市様が外に向いて発表を出すのは、(2018 年) 2月27日ということで、今日しか、タイミング的にはなかなかったなということで、先週もしサポーターミーティングあって、(練習場について)申し上げることはできなくて、議会を通っていなくて、でもこのサポーターミーティングはピンポイントとさしていただきました。

ただ、昨年も1月末だったと思いますがタイミングについては、また、相談しながらさしていただいたらと思います。毎試合できるかどうかは、私が妥協して、お返事して1年間それでフルに実施できるものなのか、わかりませんので、それこそ、定期的に行うのであれば、対応可能だと思います。そのような形で、

質問者 3)

定期的にとはどういうことですか?去年、6月末にサポーターのところで話をして、定期 的にホームページに情報を出します。と言って、出してないんです。覚えてらっしゃいます よね。

川村社長)

練習場・クラブハウスですね?発表できる段階ではなかったから、それは申し訳ないと思います。

質問者 3)

「今までの経緯も含めて、発表してください」と、言ったら「発表します」と。それで目 安として3か月です、とおっしゃって、それを、今までの経緯も含めて発表していない。そ のような段階ですから、今、この場で「定期的にやります」と言っても多分、信用はしていないんです。信用しないということは結束しない。ということなので、毎試合後、毎試合が難しかったら、月1にしますか?サポーターミーティング。

川村社長)

昨年の6月末に、過去の経緯も含めて私、申し上げました。

質問者 3)

録音しないと、こういうことになるのです。録音しないでくれと言われるから、みんな録音 していないのです。

川村社長)

原稿は私、パソコンの中に入っていますので、それは確認します。

質問者 3)

原稿にないものをおっしゃっていたと思いますね。 みんな覚えていると思うので、おったサポーター。

川村社長)

情報公開は3か月ごとに練習場のことについては報告する。といった記憶はございます。 出来ていないのも事実です。そこは誠に申し訳ございません。ただ、相手が行政絡みですの で、民間の坂出や庵治町の方や…

質問者 3)

その件に関しては、シーズン終わってからも、これは交渉事ですので、相手がありますので、まだ、はっきりと言えません。というように、記者会見で触れていますよね。

川村社長)

はい

サポーター)

それでもいいですよ。3か月ごとにそれすらもない。クラブとしてやろうとしていない。 まあ、ただ、やっていないことに関しては、今になって社長に言っても仕方ないので、今後 のことを考えたいのですけど、月一でやるのは試合終わってからがいいと思いますけど、サ ポーターミーティングをしてくれませんか?しませんか?

川村社長)

月一は業務から言ったら、ちょっと厳しいような気がするので、右から左にわかったとは、 今、お答えしかねますけど、

質問者 3)

じゃあ、どのくらいのペースで?

社長)

もう少し、長い感覚を、2か月とか、3か月とか…

質問者 3)

3か月だったらシーズン中に何回できるんですか

会場のお客様 1)

試合数が少なくなっているんだから…

川村社長)

そうですね

会場のお客様 1)

それほどタイトなスケジュールではないのでは?

川村社長)

そうですね、2か月くらいで考えてみましょうか。

ただ、あの、すみません。私ら二人が出て行って、言うわけにもいかないので、会社のスタッフも同行しなければならない話になろうと思うので、

質問者 3)

大丈夫だと思いますよ。細かいことに関しては、個別にやればいい話なので。

ただ、このサポーターミーティングは年に1回しか、開かれていないというのが問題なのであって、年に1回、しかも、この時期に開いているのに、なんか、情報共有して結束しましょうみたいなのをおっしゃるので、じゃあ、結束するために、こういうことをしましょう。とう提案を今、しているんですけど、一か月に1回って結構長いですよ。一か月って。

この SSS に沿って行くのであれば、クラブの中ではかなりのことが進んでいると思います。それくらいのスピード感をもってやっているはずなので、

川村社長)

いろいろ、環境の変化に合わせて SSS の中でも、まだ練っているといって申し上げたのですが、まあ、一年に仕上げでいかなければならない。おっしゃるとおりです。途中報告も兼ねてあると思います。

質問者 3)

それが次あるのが、8月です。と言われても、打てる手がないんです。クラブだけでやりますから、皆さんはクラブだけ出す情報をそのまま、納得して了解してやってください。ならいいのですけど。一緒にやっていこうというのであれば、一緒にやっていく、やっていこうとするなら、我々の意見も、聞きながらやっていかなければならい。

(クラブ側が)「皆さんのことは関係ないのですよ。」だったら、別にいいのですよ。クラブが発表します。で…

川村社長)

そういうわけではないです。

質問者 3)

ですよね。次、月1くらいで意見聞きませんか?という話。それもできませんか? 社長)日程はわかりました。

ホームページがある、その日程にも、そのサイクルにもよりますけど、日にちを選択しながら来月は、いつ。という形でいいですか?

サポーター)

それがダメなら、次はいつ。という形でやりましょう。

近藤)

お時間も過ぎておりますので、これでサポーターミーティングを終わらせていただきます。あ、最後に一言だけ…

質問者 4)

今の話もわかるのですけども、私たちも仲間というか、目標はひとつなんですよ。J2 にあがるということ。アウェイとかに行ったら、小川さんとあいさつに来てくれますね。そういう感じで、ザックバランと、腹を割って、社長とフレンドリーにいろんなこと言えること、言えないこと、そういうことをやっていくように進めていかなければ、ここでケンカしても何の意味もないと思うのですよ。

川村社長)

ありがとうございます。

質問者 4)

私たちがやりたいこと、やることはあると思うので対決の場ではないので、サポーターミーティングを一か月に 1 回やってもそんな厳しい話はないし、厳しいことが出てもいいと思うのですけども、そんなに固く考えなくて…

川村社長)

ご意見はよくわかります。実は、1年、間があると、今日までのご質問や、なんやら結構受けるのが大変なのです。(Pikara スタジアムの)バックの通路でやるのもいいと思います。また、日程は相談するということで

質問者 3)

出してくださいよ。HPに、いついつやります。と。

川村社長)

承知しました。可能な限りやっていきます。

近藤)

本日はありがとうございました。以上でサポーターミーティングを終了いたします。

讃岐再生策定書 〈SSS〉 実行マニュアル

カマタマーレ讃岐 2019.2.1

改革への取組(1年必達計画)

理念に沿って会社のためにやり切る。 経営者(採算)意識。 成果完結主義。

<競技目標> 1年で**J2復**帰

目標

マ事業目標> 興行のプロ集 団へ変身(数 値目標必達)

外科的 治療 内科的 治療 継続的 投薬

チーム再編 管理手法改革

フィロソフィー 徹底 透明性向上

練習場、クラブハウス素案 を行政と協議

不機能分子是正 コア人材招聘 評価制度

理念再考、行動規範徹底、責任追求

『人財改革』 PDCA習慣化

2019/3/8

競技領域

事業領域

3

SSS実行の基本理念

競技領域

- ・上村イズムの浸透とチャレンジ
- ・西村ダイレクター: 髙見ダイレ クターを中心にした一体感の創生
- ・科学的手法とPDCAの導入

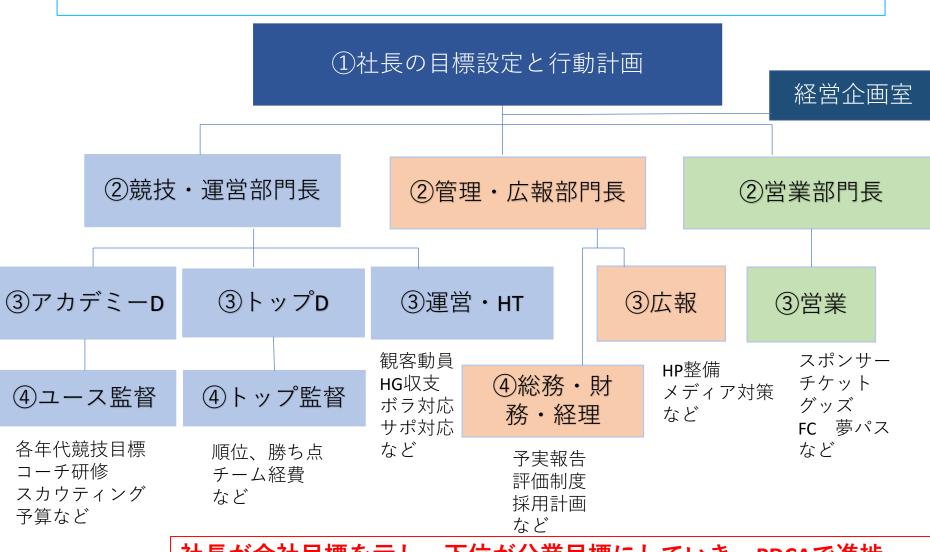
"チャレンジと不屈の取組"

事業領域

- ・風土改革の基軸となる行動規範の徹底的実践
- ・活動の可視化とPDCAの徹底
- ・信賞必罰の習慣化
- ・各事案の完結と記録

"仲良しサークルの廃絶"

年間の目標設定と行動計画の提出



社長が会社目標を示し、下位が分業目標にしていき、PDCAで進捗 フォロー(週次、月次、四半期)する。

2019/3/8

カマタマーレ行動規範(案)



ACTIONS:行動指針

K : 完遂する (コミットメント)

A:挨拶する

M:満足させる(顧客満足度)

A: あきらめない

T : 透明にわかりやすく

A : 相手を尊重する

MI: 道は正しく(大義はあるか)

A:熱い心と冷静な脳で取り組む

R:レビューを徹底する

E:笑顔で頑張る

・香川県民の方々に支えられて、常に感 謝の念を持つ。

・スポンサー様の感謝を忘れず、いつも 正直で、誠実な行動を貫きます。

・香川県民の期待と感動を感じてもらう ため、自らを磨きます。

・地域の発展を願い,よき企業市民として、社会への奉仕に努めます。

組織風土として社員に兼備えてもらいたい服務姿勢

- ・役割を果たせない
- ・採算認識が甘い
- ・他責で勝手な屁理屈で言い逃れ
- ・自分のやりたいことしかやらない

マ山なくてもいいから、わかりやすいものを数点設定

今日から心がけてほしいこと。

ヒトから言われたことは自分への期待値である。会社を主語にして考え、 誠実に応え、素早く行動する。PDCAを確認して進む。曖昧なPに成 果はない。

現行ルールがある場合はまずは従う。ルール改定が必要な場合は関係者を集めて議論し、全体最適解を探る。合意できたら、手続きに則り公式化する。(個別議論を起こさない)

ルーチン業務は計画に沿って粛々とこなし、遅延や問題発生時にはすぐに上位報告をする。上席はすぐに対策をする。

突発課題については、関係者を集めて議論し、対応策をその場で意思決定(記録に残す)、実践したら振り返り(記録に残す)。 反省点は蓄積(記録に残す)。

カマタマーレの未来のために、ここにいるみんなで礎を築いていきましょう。

率先して風土改革を実践し、プロ集団として生まれ変わりましょう。

苦しくても正しいことを選択し、あきらめず達成する社風を目指そう。

2019カマタマーレ讃岐

チーム強化方針について

2019年3月3日

目標



チームコンセプト

目標に向かって努力を持続できるチーム

1)戦術対応力(頭の整理)

⇒各システムのメリットとデメリット を理解し、相手のやり方を瞬時 に把握し、その最善の対策を 個々に判断しチームとして実行

2)人間力(心の整理)

⇒個人の能力を最大限に引き出すために 考え方を変化

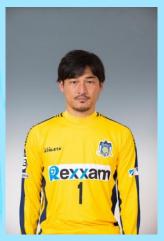
①傾聴力: 相手の意見をリスペクトして聞く関係の向上 (卑屈な捉え方・否定・感情⇒相手を受け入れる)

②主張力: チームの成長に繋がる言動 コミュニケーションの変化 (批判・攻撃・文句⇒提案・助言・励まし)

- 3) 走力(身体の向上)
- ⇒的確に動きながら隙を与えず 90分間相手を圧倒し走り負け ない運動量と速さ

- 4)技術力(技術の向上)
- ⇒攻守でのオンザボールと オフザボールの細やかな 技術の追求

2019 トップチーム選手 既存20名



GK 1 清水健太



GK 24 瀬口拓弥



DF 4 荒掘謙次



DF 5 麻田将吾



DF 6 長澤拓哉



DF 10 高木和正



DF 15 市村篤司



DF 22 武田有祐



DF 30 竹内彬



NF 7 永田亮太

2019 トップチーム選手 既存20名



MF 11 森川裕基



MF 14 佐々木渉



MF 18 鈴木拳士郎



MF 19 重松健太郎



MF 23 西弘則



MF 26 濱口草太



FW 9 我那覇和樹



FW 13 木島徹也



FW 21 福家勇蹈



W 27 林友哉

2019 トップチーム選手 新規10名



GK 16 服部一輝 前所属:カターレ富山



DF 2 西野貴治 前所属:ガンバ大阪



DF 3 ペスヨン 前所属:ギラヴァンツ北九州



DF 20 柳田健太 前所属:奈良クラブ



MF 25 澤田健太 前所属:カマタマーレ讃岐U18



MF 8 赤星雄裕 前所属:FC徳島



MF 17 池谷友喜 前所属:ロアッソ熊本



MF 28 渡辺悠雅 前所属:明治大学



MF 29 中村亮 前所属:阪南大学



FW 33 木島良輔 前所属:マルヤス工業FC

2019 トップチームスタッフ 12名



監督 上村 健一



ヘッドコーチ **石原田 啓太** 前所属:ロアッソ熊本



コーチ **松下 邦昭** 前所属:エンフレンテ熊本



GKコーチ **藤井 泰行** 前所属:JFAアカデミー



テクニカルコーチ 片岡 祐太



チーフトレーナー **小林 隆一**



トレーナー **遠岳 慎一**



アカデミー兼任トレーナー 星野洋時



主務 正木 秀樹



副務 杉本 和也



副務 鈴木 智也



トップチームダイレクター 西村 俊寛

2019 アカデミースタッフ 10名

役職	名前		
アカデミーダイレクター	高見慎司		
U-18監督	石田英之		
U-18コーチ	柿沼昭宏		
U-18GKコーチ	棚橋啓輔		
U-15監督	齋藤良平		
U-15コーチ(U-14担当)	当) 松田圭右		
U-15コーチ(U-13担当)	関原凌河		
U-15GKコーチ	小林啓輔		
スクール	篠原真樹		
スクール	織田規聖		

2019 アカデミー選手 90名

カテゴリー	人数	U-15に所属していた選手
U-18	6名	6名
U-17	14名	11名
U-16	14名 6名	
計	32名	23名

カテゴリー	人数	スクールに所属していた選手	
U-15	13名	3名 3名	
U-14	24名	10名	
U-13	U-13 21名 8名		
計	58名	21名	

高松西部校	高松東部校	三豊校	丸亀飯山校	合計
61名	109名	85名	74名	329名

ご清聴ありがとうございました

